

新連携体支援事業「ベストプラクティスプロジェクト」始動！

# 福井商工会議所と 金融機関等・報道機関 が連携・協力に関する 覚書を締結



福井商工会議所は、10月21日に、金融機関等や報道機関と新たな連携体を組織して、企業の事業計画策定とその実施、及び情報発信の支援を行うための連携・協力に関する覚書を締結した。金融機関に加え、報道機関との間で覚書を結ぶのは全国初となる。

この取り組みは、福井地域の小規模・中小企業を支援対象として、金融機関等、報道機関、福井商工会議所がこれまで以上に連携を深め、それぞれの特性を生かした支援を行うことで、経営改善等、優れた企業経営のモデルとなる「ベストプラクティス」の創出を目指していく事業である。これまで小規模企業においてあまり取り組まれてこなかった「事業計画書作り」を、金融機関と商工会議所が企業に「伴走」して支援し、その計画の実施、検証、改善等を行うと共に、その取り組みを報道機関の協力のもと情報発信することで、より実効ある企業支援を行っていく。

## 〈支援の主な流れ〉

1. 経営状況の分析  
経営状況や課題等について、金融機関と連携して分析。
2. 事業計画の策定、実施支援  
分析結果を踏まえ、金融機関と共に事業計画を策定し、その実施を支援。
3. 計画実施等の検証、モニタリング  
計画や実施の状況を検証、評価し、改善への取り組みを金融機関と連携して支援。
4. 計画実施に関する情報発信  
報道機関の協力を得て、事業計画や実施状況のPR、情報発信を支援。

企業においては、この連携で相談窓口が増え、金融機関や商工会議所による多角的な支援や報道機関との接点によりパブリシティ活用の可能性が広がる。

福井商工会議所では、この事業を利用する意欲ある企業を募集しており、下記までお気軽にご一報いただきたい。

お問い合わせ先  
福井商工会議所 金融・税務相談課  
TEL 0776(33)8284

